

# 1. 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694400021
法人名	(有) フェルナンデス
事業所名	ひだまりの家 こもれび
所在地	鹿児島県伊佐市菱刈徳辺1656 (電話) 0995-26-1138
自己評価作成日	平成28年2月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成28年3月18日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の現状や力量に合わせて、出来る事、楽しくできることを見極めながら、日々の生活を共に過ごしている。健康状態や変化を見逃さないよう、関係者で振り返り、申し合わせながら努力をしている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

伊佐市の郊外、のどかな田園風景の広がる閑静な集落に立地し、広い敷地にはデイサービスと有料老人ホームが併設されているグループホームである。  
 代表者・管理者は地域と密着した運営を目指し、開設に伴って地域の理解を得られる努力を行い、高齢化の進んだ当地域から「支援センター」の看板を頂くなどの信頼も得られ、現在では広い中庭を利用したバーベキュー会やホームの敬老会、弁当持参の花見会など地域も合同でさまざまな催し物が行われ、毎回多数の地域住民の参加があり良好な関係が築かれている。また、地域と合同で運動会も開催しており本格的なプログラムに地域住民も大いに盛り上がり利用者・家族・地域住民共に楽しみながら、地域の活性化にも一役かっている。  
 人材確保についても職員が少なくなる朝夕の時間帯に近隣の有償ボランティアの協力をもらい、利用者の見守りや話し相手などで大いに活躍してもらうなど、夜勤帯の職員の負担軽減に繋がっている。排泄状況も入居後や退院後に改善された利用者が多く、現在全員が下着で生活しており、生活レベルの向上と家族の負担軽減にも繋がっている。  
 看取りにおいては本人・家族の思いや希望に沿って家族の協力は不可欠とし、職員を増員するなどして医師・看護師・職員・家族がチームとなって取り組んでいる。  
 職員間のコミュニケーションも図られ、意見・提案を出しやすい環境は質の高いサービスの提供に繋がりレベルアップに向けた資格取得にも法人は全面的にバックアップしている。  
 管理者・職員は利用者のペースや出来ることを妨げない支援を徹底しており閉塞感や窮屈感を感じさせることのないよう職員の見守りと連携で安全で自由な生活を支援している。  
 ホーム内が明るくこたつを囲んでおしゃべりや好きなテレビに興じている様子はまるで大家族のような関係が伺える。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・採用時に伝え、何かの時は振り返り申し合わせながら行っている。	事業所の役割を理解しながら職員に分かりやすく浸透しやすい内容の理念を作成している。朝礼時やミーティング時に振り返る機会を設け、理念に沿ったケアの実践に繋げている。また、理念とは別に毎年、職員個々の意見を集約した目標も設定してサービスの質の向上に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・自然な形でのあいさつ声掛けをしながら交流している。	自治会に加入し会合にも参加して高齢化の進んだ当地域から「支援センター」の看板をもらうなどの信頼関係を築いている。また、花見や懇親会、敬老会などホームと合同で行って地域住民とも良好な関係を築いている。毎年開催している地域と合同の運動会は利用者・家族・職員・地域共に盛り上げるなど大きな取り組みとなっている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	・まだまだ足りていないが必要な時には相談にのったり、アドバイスをしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・毎日、現状報告を行い、意見交換をしている。	集落代表・民生委員・家族・行政・職員等幅広い参加者により2ヶ月に1回開催している。ホームの現状報告、地域との合同の行事についての話し合いなど毎回充実した内容の会議となっている。ときには、家族中心の会議も設けるなどして全家族に運営推進会議が浸透している。会議の設置については重要事項説明書にも明記している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	・推進会議の時や直接出向くなどして関係づくを心掛けている。	運営推進会議に毎回行政の参加があり、ホームの実情を伝えている。また、日頃より連携を図りながら協力関係を築くように努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	・徹底した申し合わせにて行っている。 ・委員会を立ち上げ振り返り確認をしている。	利用契約書・重要事項説明書に家族にも分かりやすい内容でホームの方針を明記している。身体拘束廃止委員会を設置して定期的な検討会議を行い、ときには「虐待の芽チェックリスト」により振り返りの機会を設けたり、職員のストレス調査も行ってメンタル面のフォローもしている。日中は施錠などせずに職員の見守りと連携で玄関やテラスから自由に出入りできる環境となっている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	・年間のミーティングの議題として取り上げ確認申し合わせをする。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	・例もなく行っていない。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>・丁寧な説明を心がけ議題などがないかも問いかけている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>・面会の時など現状を伝え「何かないか」声掛けを行い表情などにも気を付けている。</p>	<p>日常の来訪時や電話連絡時、家族交流会やホームの催し物の際に意見・要望を聞き出すように努めている。また、第三者委員も設置して外部者へ表せる機会も設けている。重要事項説明書に「管理者・担当者が不在であっても他の職員誰でも対応できるようにしている」と明記されており「家族関係」ノートの記録により職員間の情報の共有が徹底されている。出された意見・要望については職員間で話し合って改善に取り組んでいる。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>・ミーティングや個別の聞き取りなどの機会を作っている。</p>	<p>毎朝の朝礼時や毎月の全員参加のミーティングで職員の意見・提案を引き出すようにしている。また、利用者の現状確認や必要に応じた勉強会も取り入れている。出された意見・提案については可能な限り反映できるように検討している。働きながら学ぶ環境も整えて資格取得の支援も行っている</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>・実施している。給与、賞与についても、勤務状況や向上心等を常に把握して実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・ 職員の心理状況なども把握し、資格取得には可能な限りの支援を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・ 同業者との交流で学ぶべきことは、あまり無いように思うので、同業者との交流はしないことにしている。それよりも社内研修が有効であると思う。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>必要に応じて担当を置くなどしてスムーズに生活をおくれるように配慮している。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・しっかり聞くように役割分担など可能な限り支援できるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・いろいろな確認思いをくみ取り、柔軟な対応を心がけている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・一緒に行く、一緒に過ごすを申し合わせながら生活している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	・状況に応じて役割分担をし、なるべく思いを共有できるよう努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・可能な限り継続できるよう、聞き取り対応している。	携帯を所有している利用者もおおり、気軽に友人知人と連絡を取り合っている。また、家族に理解と協力をもらいながら美容室の継続やお墓参り、一時帰宅、冠婚葬祭、お盆やお正月は可能な限り自宅に日帰りしたり外泊して家族と過ごせるように促している。友人知人の訪問も多く、訪ねやすい雰囲気作りにも配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	・相性のいい人やその日の気分で過ごせるよう、座る場所や日々の作業など、楽しく行えるよう配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	・入院等での退所の場合も、面会に行くなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・会話や日々の生活する中で把握した事は、かなえられるように努力している。	何をするにも本人の意思確認をしてから行うように努めている。また、利用開始前の情報だけに頼らず、本人の表情や言動からも思いや意向を検討している。特に居室やベランダでの日向ぼっこ、受診時の待合の時間などは利用者が思いを表してくれやすく会話に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・その都度家族や関係者などと積極的に関わり、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・状況や意思の確認、見極めをしながら支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・申し送りやミーティングで確認し意見を出し合いながら取り組んでいる。	本人・家族の思いや意見を聴取し医師・看護師を交えたサービス担当者会議を開催して個々に応じた介護計画を作成している。これまでの生活や趣味の継続、家族の支援・役割なども取り入れて個別性のある現状に即した介護計画が作成されている。毎月、ミーティング時に利用者の現状確認と申し合わせを行っている。退院後や状況に変化があれば必要に応じて追加プランとして計画に反映させている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>・個人記録等をもとに全員で確認しながら取り組んでいる。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>・それぞれの思いに対応できるよう法人として取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>・情報を集め、必要時必要な協力が得られるよう関係作りをしている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>・かかりつけ医を中心に関係ができており困らない協力関係を築いていく。</p>	<p>本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。ホームより受診同行しており、結果は随時家族に報告している。協力医療機関とは24時間緊急時などの連携が図られ、訪問看護ステーションとの契約により利用者の健康管理も密におこなわれている。入居時に主なる判断者と急変時の確認書も作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>・いつもと違うを見逃さないよう、申し合わせ気づきは伝え、解決できるよう努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>・安全に治療できるように情報提供をし、早期退院になるよう関係づくりに気を付けている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>・段階に応じて説明をし、その時その時の意思確認、思いの把握に努め、方向性を話し合っている。</p>	<p>重度化・看取りにおけるホームの方針は家族にも分かりやすい内容の指針を作成して入居時に説明している。必要に応じて同意書と終末期及び急変時における確認書も作成している。入居後は利用者の身体状況に応じて主治医・家族との話し合いのもと方向性を共有してホームでできる最大限の支援に取り組んでいる。これまでに本人・家族の希望による看取りも行われており、家族の協力を不可欠とし、職員を増員して支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>・ミーティングや日常の中で学べるよう努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>・関係者の協力体制もとりつつ、訓練ミーティング等でマニュアルの確認をしながら努力している。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。ホームの自動通報システムには近隣住民も登録されている。スプリンクラーも設置されており、備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	・一つひとつの声掛けや支援を丁寧にしっかりと聞き、しっかりと応えることを申し合わせている。	利用者個々に応じて声かけなど配慮しながら対応している。日常の業務で気づいたら都度話し合い、必要に応じて勉強会も設けて職員の資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	・必ず意思の確認、了解されてから支援するよう申し合わせている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	・利用者のペースでの生活になるようその日、その時で過ごし方を決めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	・心掛けているが、本人の思い通りか？少し振り返りが必要。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	・一緒に行くを前提に取り組んでいる。（食べたい物を聞く等）	調理や下ごしらえ、後片付けなど出来ることは手伝ってもらっている。ときには、庭やテラスでの食事やお茶、地域の方々とのバーベキュー会、さんま祭り、ホーム内でも喫茶店やラーメン店など趣向を凝らし、花見や運動会などは弁当を広げて「食」が楽しめるように支援している	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・間食を入れたり量に応じて補食を加えたりなど、記録をもとに把握し、取り組んでいる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・出来ないところ、不足するところを支援し夜は入れ歯洗浄剤の支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・状況に応じてオムツ等の使い分けをし振り返りながら、支援法の決定、見直している。	日常の排せつ記録と必要に応じて個別の記録ノートを作成してこまめな様子観察を行い、改善や自立に向けた排せつを支援している。入居後に改善された利用者も多く、現在、全員が日中は下着で過ごしており、職員のさりげない声かけとトイレ誘導で維持出来るように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	・排泄の状況の確認申し合わせを行い個々に応じて取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	・意志に合わせて本人のペースで支援している。	夏は毎日、冬は一日おきを基本としているが、個々の身体状況や希望に沿って無理強いすることなく柔軟に支援している。毎日入浴する利用者もいる。入浴をためらう利用者には「温泉券」を配布したりと工夫している。ゆず湯や入浴剤で季節を感じてもらったり足湯に出かけることもある。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	・それぞれに応じ、その日に応じ寝る場所も決定し本人のペースで支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	・確実に間違いなく服薬できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	・力量やその日の状況を見極め、一緒に行い生活している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	・希望はあまり聞かれないが、気分転換や季節を感じられるよう外に出る機会を作っている。	日常は近隣の散歩やドライブに出かけ、近隣も交えての庭やテラスでのお茶や食事なども行っている。元気な利用者が多く、毎月外出レクを企画して、お弁当持参で季節の花見や運動会、初詣、イルミネーション見学、曾木の滝見物、駅伝応援などいろいろな場所に出かけて楽しんでいる。また、家族の協力をもらいながら一時帰宅や外泊なども行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>・家族の管理となっている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>・それぞれの力量に合わせてできるように対応している。（手紙・携帯電話など）</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・臭いに気を付け季節を感じられるよう壁紙など気をつけている。</p>	<p>季節ごとの利用者の作品を玄関先のショーケースに展示して来訪者の目を楽しませてくれている。木のぬくもりを感じる事が出来る建物は中心に共有スペースを設け、台所もオープンで利用者も手伝いやすく、食事の準備の様子やにおいなど五感を刺激してくれる。食事のテーブルとテレビとソファの置かれたくつろぎのスペースに分かれて生活にメリハリができるように配置を工夫している。冬はこたつが2か所置かれてそれぞれお気に入りの場所で過ごしている。リビングからテラスに直接出入りができるので、開放感がある造りである。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>・コタツやソファの配置を変える等、その時々に合わせて対応している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>・家族とともにその時の状況に合わせて支援している。</p>	<p>持ちこみに制限はせずを使い慣れたものやこだわりのあるものが持ち込まれている。仏壇や位牌、家族の写真やお気に入りの小物、ジグゾーパズルが趣味の利用者の居室には作品が飾られてそれぞれに居心地良く過ごせるように配慮されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>・家具の配置や貼り紙等で工夫している。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない